

中部大学名物行事「8時間自転車耐久レース」

夜明けの気温は5度でした。今日の日中の空は雲が少しみられましたが、青空とは分離されているように見え、スッキリとした冬の空でした。お天気アプリの情報によると、最高気温は11度でしたが、風が強く体感温度はもっと低く感じました。



スピード部門の学生達



パフォーマンス部門の学生



8耐救護ボランティアの教員と学生達

少し前の話になりますが、11月3日(金曜日)に中部大学名物行事である「8時間自転車耐久レース」が行われました。この日は大学祭の初日です。「8時間自転車耐久レース」は、クラブ運営委員会が主催し、夕方4時から午前0時までの8時間を学内の特設周遊コースを使って自転車で走るものです。スピード部門、パフォーマンス部門の2部門があり、毎年、熱戦が繰り広げられています。不言実行館の山田公夫館長に起源(歴史)をお聞きした所、中部工業大学時代は自動車ラリーがあり、県外まで舞台を広げて行われていたそうです。安全への配慮などから1973(昭和48)年の第10回大学祭以降は自転車レースになったとのこと。現在は8時間耐久レースですが、昔は12時間だったそうで、この話をお聞きして驚きました。コースは学内を巡る起伏やカーブの激しい1キロ。周回数を争う”スピード部門”と、仮装や車体装飾の面白さを競う”パフォーマンス部門”があり、熱戦が繰り広げられました。

レースに出ない学生も一丸となって応援し、「8時間自転車耐久レース」を盛り上げます。一部の模擬店は夜店営業をしており、私もお好み焼きと牛串、フランクフルトを調達。いや、必死の売り込み(押し売り)と表現する)に心を打たれました。ピットでは、仲間を応援したり、自転車を整備したりする姿がありました。さらに、こたつを持ち込んで豚汁や鍋を味わいながら歓声を送る光景も見られ、多くの学生が大学祭初日を8耐で深夜まで楽しんでいました。トライアスロン部のAくんは「最速のメンバーをそろえた」と自信満々でした。夏季課外教育活動(フレッシュマンキャンプ)のリーダーで構成されるチームのIさんは、「笑顔を振りまいて楽しみたい」と話してくれました。

運営するクラブ運営委員会の努力は言うまでもありません。コース内の障害物には分厚いマットが設置され、マンホールなど滑りやすい場所への配慮等、安全にもしっかり気が使われていました。本当にご苦労様でした。また、スポーツ保健医療学科で救急救命士を目指す学生が救護ボランティアを担っていました。幸いなことに、救護活動は数回あったものの、大事にはならず、活気と熱気のまま24時のゴールとなりました。

選手、スタッフに関係無く、参加した皆さんは、何事にも変えがたい達成感を味わった事でしょう。このように、どうか皆さんも中部大学における学生生活の中で、勉強だけでなく、時には遊び、幅広い趣味を持ち、卒業後も一生つきあっていける友人をぜひ、見つけてほしいと思います。『良く学び、よく遊ぶ』という言葉があります。学びと遊び、どちらか一方だけではバランス良く人間力を養う事はできないと思います。そのためには、大学祭も重要な機会だと思いました。とにかく、大学生は幅広いことをやった方がいいです。ただし、節度(度を越さない、適当なほどあい)は忘れないように！

話は変わりますが、先日、commonsサポーターが企画する新しいイベントについて説明を受けました。近日中に案内がされると思いますが、少しだけ紹介します。そのイベ

ントは、災害対応トレーニングです。DIG(ディグ)と呼ばれるものです。災害(Disaster)のD、想像力(Imagination)のI、ゲーム(Game)のGの頭文字を取って名付けられた、簡単な災害図上訓練ノウハウの名前です。2011年3月11日以降、防災に対して関心を持つことが重要とされています。現に、東京経済大学が防災活動サークルを立ち上げ、消防署と連携した学生団体として活動している事が大きく取り上げられていました。東京経済大学のサークル活動に参加する学生の言葉を見た事があります。「サークルの最大の目標は同世代の学生に活動を知ってもらい、防災訓練の参加率を上げていくこと。学生のうちから防災に関心を持つことは多くないと思うので、活動のさらなる広報や訓練参加の呼び掛けなどが必要だと思う」と書かれていました。学生時代から防災に対して関心を持つことは、就職先の職場や今後家庭を持った時など、自らのこれからの人生に必ず生きるはずです。 commonsセンターでの開催は、来年1月になります。ぜひ、参加してください。



commons企画「DIGってなに？ 中部大学って安全？」のポスター

本号を(も)お読み頂き、ありがとうございました。11月に入って寒くなって来ています。風邪をひいている方もちらほら見受けられますし、三重県内では学級閉鎖になっているところもあると新聞で読みました。特に下宿(一人暮らし)をしている学生が風邪やインフルエンザになってしまい、一人でどうしたら良いか分からず、辛い思いをした経験があると良く耳にします。体調管理を十分にしてください。風邪予防は、「手洗い」と「うがい」が基本です。微熱や鼻水が出る程度でも、検査をしてみたらインフルエンザだったという例もあります。しかも、軽症でも周囲の人にうつしてしまうリスクがあるので注意が必要です。体調不良の際は、早めに医療機関を受診してください。無理をしたり、根性で治そうとして、受診のタイミングを逃すと重症化する可能性もあります。どうか、健康的なキャンパスライフを送ってください。

commonsセンター長 伊藤 守弘